

# 日本科学哲学会

## 第52回(2019年)大会

期日：11月9日(土)・10日(日)

場所：慶應義塾大学 三田キャンパス

大会参加費：1,000円(非会員の方でもご参加いただけます)  
所在地：〒108-8345 東京都港区三田2-15-45  
交通案内：田町駅(JR山手線/JR京浜東北線)徒歩8分

### 11月9日(土)

#### 研究発表(9:30-12:00)

《A会場(522教室)》(9:30-12:00) 司会：1-3 松本俊吉(東海大学)、4-5 鈴木貴之(東京大学)

1. 明日 誠一(青山学院大学).....女性はマイノリティと考えられる——「考える力」をつけるために(不)必要なものを事例研究から考察する——
2. 平田 一郎(関西外国語大学).....エナクティヴィズムとホワイトヘッドの知覚論
3. 三富 照久(中央大学).....大出晃のアリストテレス研究について(科学哲学の立場から)
4. 佐藤 真人(日本学術振興会特別研究員PD).....エーテルの形而上学 デカルトとニュートンの自然哲学体系の一断面
5. 苗村弘太郎(京都大学).....歴史科学の目的としての理解と物語的説明

《B会場(524教室)》(10:00-12:00) 司会：1-2 秋葉剛史(千葉大学)、3-4 古田智久(日本大学)

1. 源河 亨(慶應義塾大学).....レッド・ツェッペリンのユーモア、鑑賞における情動と知覚
2. 富田 雄揮(日本大学).....何が選言説を走らせるのか?——知覚の志向説と選言説における内容の個別性について——
3. 松本 将平(東京大学).....知覚的認識に関するセラーズ主義者らの諸見解を比較・考察する
4. 池知翔太郎(東京大学).....様相の形而上学における現実主義と必然主義

《C会場(527教室)》(10:00-12:00) 司会：1-2 岡本賢吾(首都大学東京)、3-4 村上祐子(立教大学)

1. 竹内 泉(産業技術総合研究所).....〈ならば〉の意味論
2. 田中 大海(慶應義塾大学).....様相演算子を持つ部分構造論理が決定不能であるための十分条件
3. 角田健太郎(首都大学東京).....対称ラムダ計算の型規則と古典論理的推論
4. 鈴木 聡(駒澤大学).....A Non-Archimedean Model of Logic of Gradable Adjectives

《D会場(532教室)》(10:00-12:00) 司会：1-2 伊勢田哲治(京都大学)、3-4 田中泉史(慶應義塾大学)

1. 薄井 尚樹(三重大学).....ロボット/AIにたいする態度はなにを意味するのか
2. 太田 紘史(新潟大学)・笠木雅史(名古屋大学).....功利主義は進化論的暴露から逃れられない
3. 高崎 将平(東京大学).....「自由意志」をめぐる論争対立をいかに理解すべきか?
4. 蝶名林 亮(創価大学).....道徳の規範性を身体化する? : 民主的ヒューム主義の是非を見定める

理事会・評議員会・大会実行委員会(12:00-13:30)《会場：525-A 教室》

総会(石本賞授与式)(13:30-14:10)《E会場：526 教室》

シンポジウム(14:15-16:45)《E会場：526 教室》

「タイプ理論再考—Type, Abstraction, Classification」

オーガナイザー・提題者：岡田光弘(慶應義塾大学)

提題者：Jean-Baptiste Joinet(University of Lyon)、佐藤雅彦(京都大学)、岡本賢吾(首都大学東京)

特別講演(16:55-17:55)《E会場：526 教室》

「裁判員の有罪無罪判断を左右する心理的要因」

講演者：伊東裕司(慶應義塾大学)

司会者：伊勢田哲治

懇親会(18:00-20:00)

会場：西校舎1階 山食

会費：一般5,000円 学生もしくは求職中の研究者3,000円

ただし、お酒を飲まない方は以下のとおり

一般4,000円 学生もしくは求職中の研究者2,000円

### 11月10日(日)

ワークショップ(9:45-12:00)

I. 「観測・視覚化と実在」《C会場：527 教室》

オーガナイザー：伊勢田哲治(京都大学)、大西勇喜謙(総合研究大学院大学)

提題者：大西勇喜謙、山口まり(日本大学)、伊勢田哲治

II. 「Action and Agency after Davidson」《D会場：532 教室》

オーガナイザー・提題者：鈴木雄大(国際武道大学)、Zoltan Istvan Zárdai(慶應義塾大学)

提題者：佐藤広大(慶應義塾大学)、島村修平(日本大学)

理事会・編集委員会・大会実行委員会(12:00-13:00)《会場：525-A 教室》

研究発表(13:15-14:45)

《A会場(522教室)》(13:15-14:45) 司会：金子洋之(専修大学)

1. 川居 慧士(慶應義塾大学).....自然数についての哲学者の直観とはどういうものか
2. 菅崎 香乃.....意味盲には何が欠けているのか

《B会場(524教室)》(13:15-14:45) 司会：鈴木生郎(日本大学)

1. 梶本 尚敏(シドニー大学).....時間の経過の改訂主義
2. 山名 諒(京都大学).....「いつでもすべてのものは現在にある」とはどういうことか?

《C会場(527教室)》(13:15-14:45) 司会：松阪陽一(首都大学東京)

1. 天本 貴之(慶應義塾大学).....談話のダイナミックな性質を再考する
2. 山泉 実(大阪大学).....名詞句の“自由拡充”が抱える問題とその根源

《D会場(532教室)》(13:15-14:45) 司会：横山幹子(筑波大学)

1. 八木 厚夫.....現象的意識の存在論的意味
2. 若林 佑治(東京大学).....現象的概念戦略の批判的検討

ワークショップ(15:00-17:15)

III. 「機械学習・深層学習の哲学的意義」《C会場：527 教室》

オーガナイザー・提題者：鈴木貴之(東京大学)

提題者：植原亮(関西大学)、大塚淳(京都大学)

IV. 「教育の哲学の新たな可能性を探る」《D会場：532 教室》

オーガナイザー：立花幸司(熊本大学)

提題者：山田圭一(千葉大学)、佐藤邦政(敬愛大学)、三澤紘一郎(群馬大学)